

宮川の渇水概要(4月26日時点)

渇水状況

- 宮川流域では、1月以降平年を下回る降水量が続いており、小雨傾向となっています。
- 河川流量は、降雨による一時的な回復はあるものの、4月以降正常流量(良好な河川環境を維持するために必要な流量)を下回る状況となっています。
- 農業用水の不足から、4月11日より宮川ダムから7,500千m³を上限とするかんがい用水の補給を開始しました。
- 今後、このままの状況が続けば宮川ダムの不特定かんがい用水7,500千m³を使い切るため、5月17日まで、上記かんがい用水を使い切った場合、宮川ダムの発電用貯留水のうち、新たに2,620千m³を上限として融通することを決定しました。

かんがい用水地区内 ため池等の状況

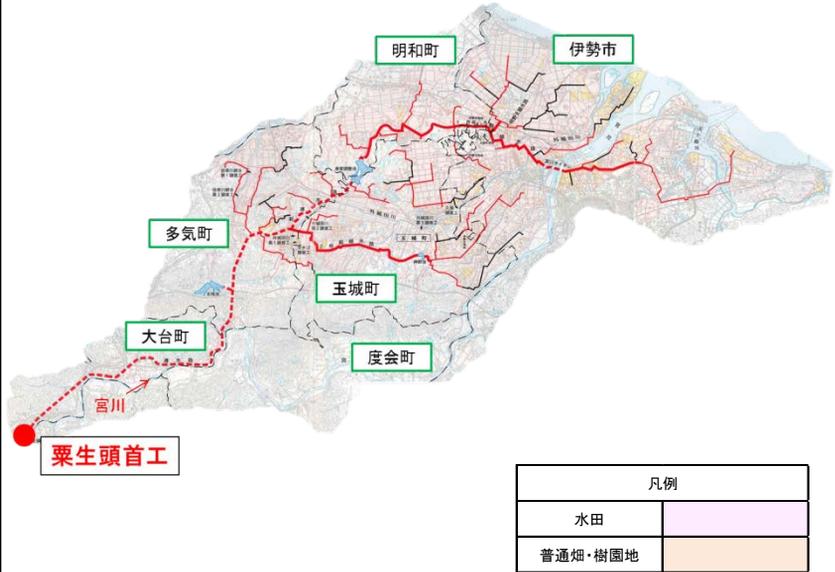


河田池 4月21日 貯水率:約50%

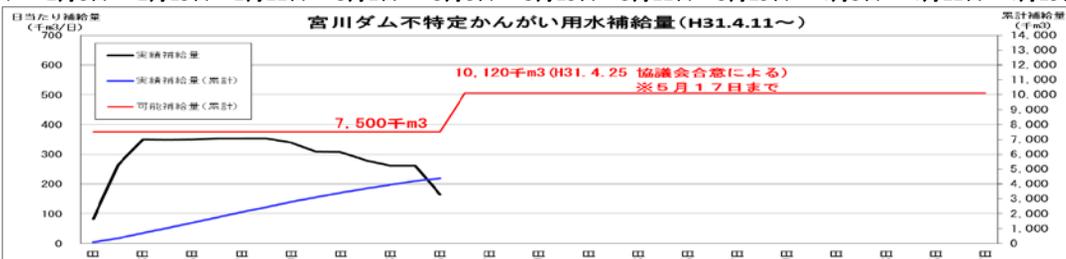
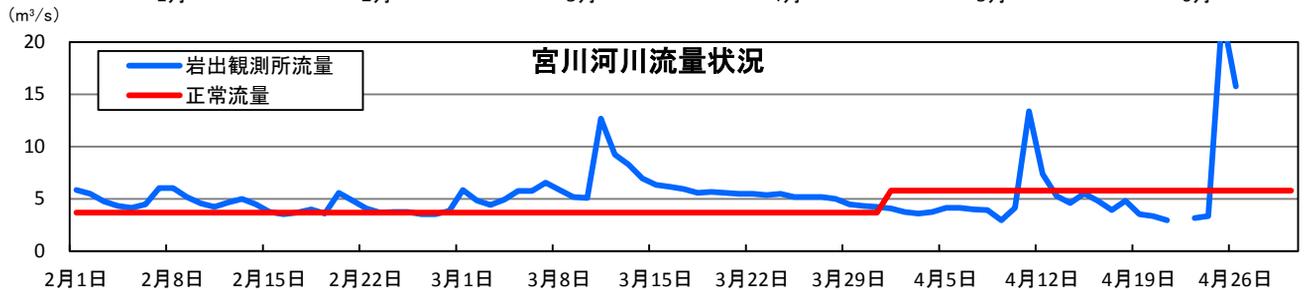
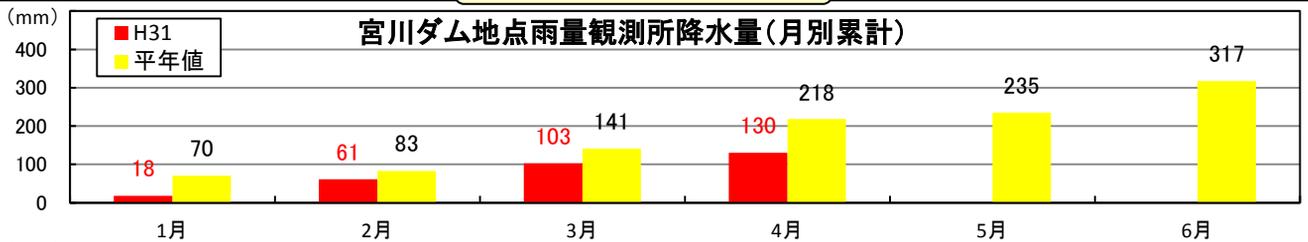


外城田第1頭首工 4月16日 貯水率:約60%

かんがい用水の受益地



降雨状況等



宮川の渇水対応状況(4月26日時点)

これまでの対応状況

- ・ 3月より、宮川用水土地改良区が各路線地区委員会の場において本年の少雨状況を説明し、節水対策を指示しました。
- ・ 4月25日に宮川渇水調整協議会を開催し、取水制限(上水:自主、農水:35%)等の措置を決定しました。
- ・ 4月25日に三重河川国道事務所渇水対策支部を設置しました。

宮川用水 各路線地区委員会の様子



平成31年度 第1回宮川渇水調整協議会(H31.4.25)



河川巡視実施状況(H31.4.26)



三重河川国道事務所渇水対策支部設置状況(H31.4.25)



今後の対応予定

- ・ かんがい用水の需要量及びダムの補給可能残量を毎日把握します。
- ・ ダムの貯留水をかんがい用水のために再度融通する必要がある場合には、利水者間での調整を行います。